

空間自在創造企業

Creative Panel

たった1ピースのシステムパネルが、あらゆるニーズに対応できる空間と無限の可能性を創りだす。



東西工業株式会社

パネルで造る 「理想」空間

空間の個性は仕切られることで初めて生まれます。断熱性、遮音性、気密性などに優れ、外界の影響をより完璧に遮断した空間が実現できれば、その空間を特徴づける温度・湿度、酸素や二酸化炭素など大気の特徴などはより際立ちます。東西工業は、何がその空間に求められるものかを出発点に、パネルにさまざまな機能性を持たせることで、お客様が求められる空間性能を、より完璧に、よりローコストで実現いたします。みなさまの空間へのわがままをお聞かせください。それにお応えすることが、私たちの喜びであり使命です。

設計から製造まで、
最先端かつ極限のニーズにお応えします。

昭和44年創業の当社は、プレハブ冷蔵庫の製造を出発点に、昭和46年の硬質ウレタン注入発泡方式の採用とパネルの規格化・量産化の成功で、多くのお客様の信頼を得て発展してまいりました。

冷蔵庫、冷凍庫、恒温恒湿室、クリーンルーム、乾燥室、養生室など、常に時代の最先端ニーズにお応えする技術開発と製品開発を続け、現在、そのお客様も自動車からエレクトロニクス、食品、医薬品など多岐の産業分野にわたっています。産業ばかりでなく、学術・研究分野や医療分野でも評価をいただいております。

また当社製品は、日本企業の海外展開に伴って、アジア各国で使われているばかりでなく、苛酷な自然環境の南極の昭和基地やゴビ砂漠などの極地でも活躍し、その技術は世界レベルと自負しております。

当社の基本は高性能パネルです。技術革新の激しい材料の世界。今後も新材料の採用など技術開発と、ローコスト・高信頼の製造技術の開発に努めながら、お客様からのより高度なご要望や困難な課題に応じてまいります。

今後も、東西工業にご期待ください。

代表取締役社長 杉山 友紀

「極地御用達」…50年を越える

東西工業のプレハブパネルは、南極観測隊の昭和基地に採用され続けて50年超になります。昭和基地から1,000キロも奥地、2004年に正式に基地となった「ドームふじ」でも採用され、標高3,810m、年間の最高気温-18.6℃、最低気温-79.7℃、平均気温-54.3℃、平均気圧598.4hPaの昭和基地以上に過酷な環境の中での実験や研究、生活をサポートしています。

南極の基地では、建設については特別な技術が必要としなくても、素人の隊員たちでも組み立てられて、しかも時には風速60メートルもの強風が荒れ狂うこともある環境への十分な耐久性を持ち、もちろん良質の居住性も求められます。50年にもわたって私たちの製品が南極大陸で使われ続けていることは、私たちの大きな自慢でもあります。

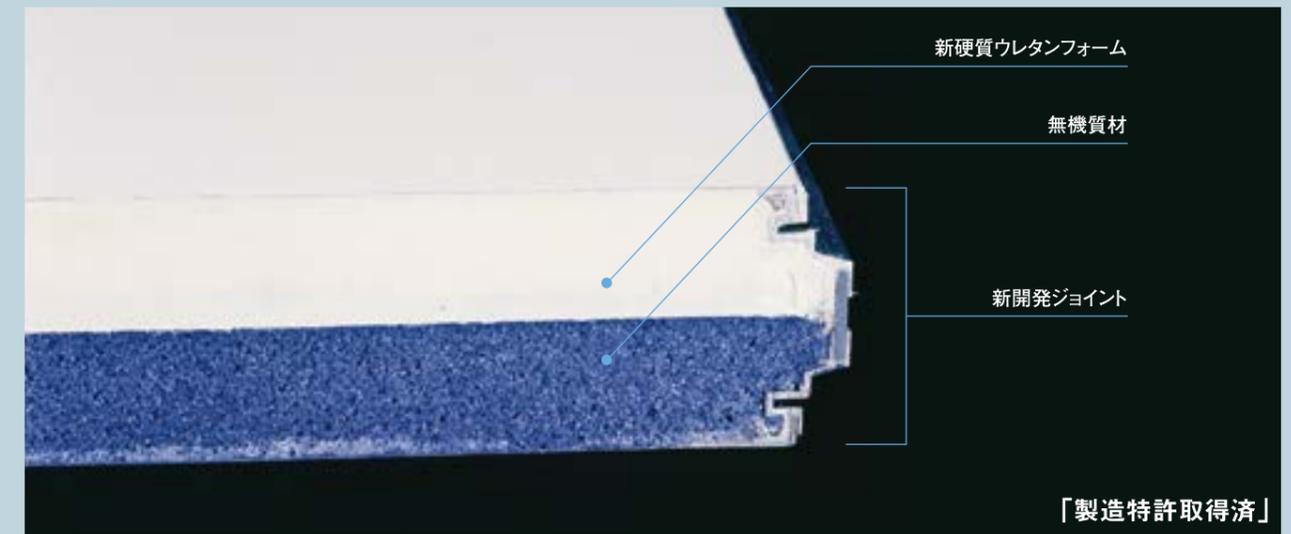
こうした実績を元に、南極とは逆の酷暑と年間の温度差が80℃もあり、わずかな隙間から微小な砂粒が入り込むモンゴルの砂漠の中の観測実験施設も受注しています。

「極地御用達」…東西工業の技術に対する高信頼を証明するエピソードです。



南極大陸での実績。

他の追随を許さぬ東西のシステムパネル。



独立構造自立パネル。

東西工業のパネルは、無柱方式の独立構造自立パネル。支柱を必要としない壁構造なので、屋内外を問わず、合理的かつ経済的に設置できます。天井の補強は上部梁方式を導入していますので、室内天井部には突起物がなく、室内の対流にも影響を与えません。

優れた特殊断熱性能。

新硬質ウレタンフォーム(SE級)を高圧発泡させたサンドイッチパネルは、飛躍的に断熱性能を高め、恒温室において-50℃~+150℃の超低温・超高温ニーズへの対応を可能にしました。またこの新硬質ウレタンフォームは、着火しにくい自己消火性能も備え、火災に対する安全面にも優れています。さらに、コーナーパネルには、東西独自のホットプレスを使用、寸法安定性を向上させるとともに、パネルのそりなどの変形も防いでいます。

施工がシンプル、経済的で正確です。

パネル工法は、工場生産したパネルを施工現場でそのまま組み立てるため、短い工期で正確な施工ができ、他の工法に比べ、利便性と経済性の面で格段の違いをみせます。

独自ジョイントで高气密を実現。

パネルのジョイント部にシリコン系シーラント(無臭性)を充填することで、高い気密性を実現しています。

実績が証明する抜群の耐久性。

塩ビ鋼板、ステンレス、カラー鋼板などパネルの表面材は、永年の研究データに基づいた高い耐蝕性、耐候性を示しています。また汚れにくいように表面に特殊加工を施し、衛生面も考慮しています。

多種多様なニーズに応えます。

東西のシステムパネルの内装はステンレス、外装は塩ビ、オールステンレス、オール塩ビなどの表面の仕様、最長7m未満での特殊寸法製作、コンセント、パイプなどの配線配管のパネル内部への埋め込み、既設柱を利用した柱巻き・梁巻きなど、さまざまなニーズに対応できるシステムです。

省スペースで最大限の空間利用が可能です。

東西のシステムパネルは、合理性を重視した結果、築造方式に比べ、壁厚を1/2~1/3にスリムにし、スペースの有効活用を大幅に向上させます。

増改築にも柔軟に対応できる工法です。

天井、壁、床の組立ては、すべてパネル連結工法なので、スペース拡大や改良など増改築に容易に適用できます。

短納期、変型のニーズにもすばやく対応。

求められるニーズにすばやく対応ができるように、実績のあるノウハウをベースに設計から製作、施工までの独自のシステムラインを構築。特に変型パネルの製作に関しては、東西の技術が最大限に活用できる領域です。

高品質を保証するフレキシブルな生産ライン。

コンピュータ制御によるフレキシブルな生産ラインで、幅広いニーズにスピーディーにお応えします。永年の専業メーカーとして数々のノウハウを蓄積して改良を続ける生産ラインは、厳格な品質基準をクリアする高品質パネルを安定的に供給しています。



機能、性能、耐久性、施行性に優れた信頼の技術。

さまざまな分野で、 極限環境の実現を サポートします。

たとえば製品の試験・実験室

-50℃~+150℃という温度に対する幅広い対応能力が評価され、
東西工業のシステムパネルは、耐候試験など
電気・自動車・輸送機器メーカーの試験・実験施設で採用されています。



高温エージングルーム / 100坪



南極基地向け風力発電機



病院・手術室・ホール / 350坪



JAXA はやぶさ2 試験室 / -60~+150℃

たとえば
南極基地向け風力発電機・
JAXAはやぶさ2試験室・
手術室・クリーンルーム

東西工業の製品の、熱や大気など
外部に対する密閉性の高さ、
電磁波のシールド技術などが評価され、
エレクトロニクス製品製造の試験室・手術室・
クリーンルームに採用されています。



機能、性能、耐久性、施行性に優れた信頼の技術。

自動車、エレクトロニクス製品の性能試験に。



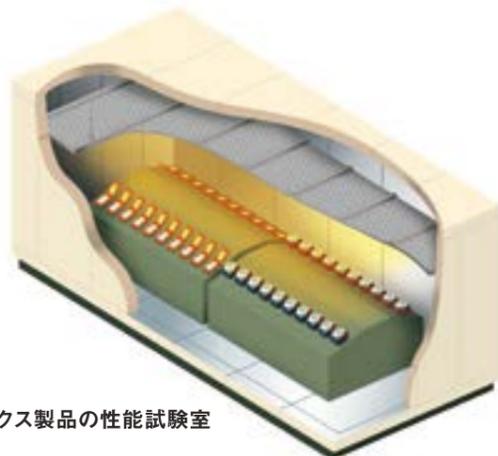
自動車メーカーの性能実験室

世界で評価され信頼される日本の工業製品。その高品質が生まれる背景には、温・湿度、気圧、風や降雨、日射の強さなど、その製品が使われるであろうさまざまな環境条件を想定して、想定以上の過酷な状況下で積み重ねられるテストがあります。過酷な環境を、そうではない場所で人工的に造り出すには、外部の影響を限りなく完璧に近く遮断できる空間が必要です。

東西工業の高性能パ

ネルは、断熱性、耐熱性、耐圧性、遮音性、電磁シールド特性、絶縁性、密閉性など、お客様ごとに異なるご要望を満足する性能を実現して、さまざまな分野の試験や実験に不可欠なツールとして利用されています。

自動車や電子機器メーカーを始めとする世界トップレベルの「ものづくり日本」の現場で、当社のシステムパネルが使われていることは、私たち東西工業の誇りです。



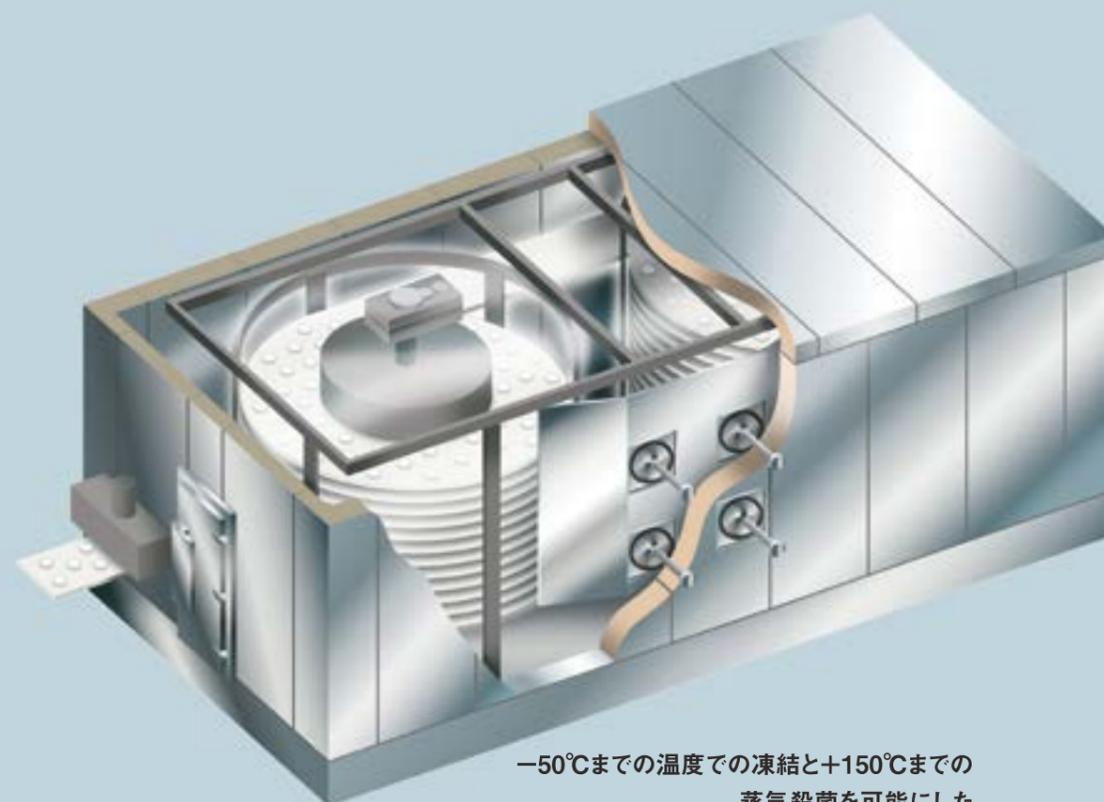
エレクトロニクス製品の性能試験室

蒸気殺菌を求められる冷凍食品の製造ラインにも。

東西のシステムパネルは、温度に対する幅広い対応能力と密閉性が評価され、かつ衛生面で設備の蒸気殺菌が求められる冷凍食品の冷凍製造ラインで使われています。

HACCP対応新断熱システムパネル

HACCP(ハセップ/ Hazard Analysis Critical Control Point)とは、アメリカの宇宙食開発において、安全な食品を作ることと目的として設定された『危害分析管理システム』です。システム断熱パネルの製造メーカーとして50余年の実績を持つ東西工業では、食品について中温菌、高温菌がほぼ死滅する -40°C 以下で数ヶ月間の冷凍保存や、さらなる安全性の確保に必要な夜間における約 120°C の蒸気殺菌にも対応できる新断熱パネルを開発。設計においては衛生管理を重視し、排水をスムーズにするための床傾斜、床部Rコーナー式などを開発し、HACCPへの対応を実現しました。



-50°C までの温度での凍結と $+150^{\circ}\text{C}$ までの蒸気殺菌を可能にした「高温殺菌スパイラル急速冷凍装置」

TOUZAI

東西工業株式会社 ● 会社概要

社名 東西工業株式会社
 本社 静岡県藤枝市横内1086-1
 設立 昭和44年
 資本金 4,000万円(発行済株式総数80,000株)
 代表者 代表取締役社長 杉山 友紀
 社員 60名(男子55名・女子5名)

取扱品目 システム断熱パネル
 環境試験室 蒸気殺菌付フリーザー
 乾燥室 冷凍・冷蔵庫 クリーンルーム

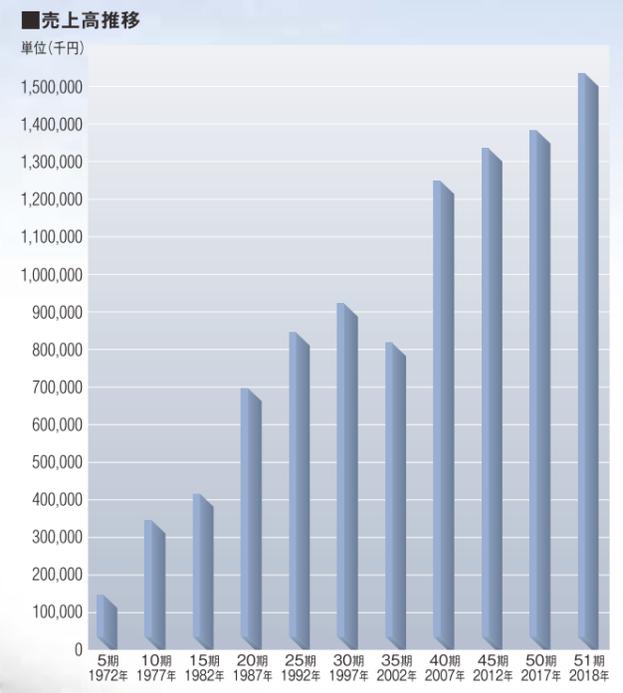
- 主要設備
- 工場敷地 / 藤枝市横内 5,200m²
 - 工場 / 鉄骨2階建 2,700m²
 - 事務所 / 鉄骨2階建 495m²
 - 倉庫 / 鉄骨2階建 330m²
 - コマツメカニカルシャー(バックゲージ付)2基
 - アマダプレスブレーキ35t(バックゲージ付)1基
 - アマダプレスブレーキ100t(バックゲージ付)3基
 - アマダタレットパンチプレス 1基
 - アマダセットプレス15t 2基
 - アマダアイアンワーカー 2基
 - パネル成形ライン一式 1基
 - 多段式特殊プレス3m・100t 2基
 - 多段式特殊プレス4.3m・100t 1基
 - 多段式特殊プレス5m・100t 2基
 - 角プレス4m 2基

- 主要設備
- 高圧ウレタン注入機 2基
 - リップソー 1基
 - ダブルソー 1基
 - ラジアルソー 1基
 - レベラー付シャーリングライン 1基
 - その他 25基

取引銀行 商工中金 静岡支店・中小公庫 静岡支店
 スルガ銀行 岡部支店・静岡銀行 藤枝支店
 三菱東京UFJ銀行 静岡支店
 静岡信用金庫 藤枝支店・島田信用金庫 藤枝東支店

沿革

- 昭和42年 1月 1日 東西工業プレハブ冷蔵庫部門設立
- 昭和44年 5月29日 資本金100万円で株式会社に改組
- 昭和46年11月30日 資本金150万円に増資
- 昭和47年11月30日 資本金330万円に増資
- 昭和48年11月30日 資本金660万円に増資
- 昭和49年11月30日 資本金990万円に増資
- 昭和50年 4月20日 資本金1,000万円に増資
- 昭和50年 8月23日 当社の販売部門として、日本ウォークインクーラーを資本金500万円で設立
- 昭和50年11月30日 資本金1,500万円に増資
- 昭和51年11月30日 資本金1,800万円に増資
- 昭和52年11月29日 資本金2,070万円に増資
- 昭和53年11月30日 資本金2,277万円に増資
- 昭和53年12月12日 資本金2,300万円に増資
- 昭和54年11月30日 資本金2,530万円に増資
- 昭和55年11月30日 資本金2,783万円に増資
- 昭和56年 2月 9日 資本金2,800万円に増資
- 昭和56年11月30日 資本金3,000万円に増資
- 昭和57年 9月26日 資本金4,000万円に増資
- 昭和60年11月 1日 東京営業所開設
- 昭和63年 工場用地3,000m²購入
- 平成 3年 新工場建設鉄骨2階建2,700m²
- 平成 9年 日本ウォークインクーラーを吸収合併
- 平成18年 トラックヤード建設450m²
- 平成28年 不燃パネル工場500m²建設
- 平成29年 耐熱不燃パネル特許取得
- 平成29年 東西ホールディングス(株)設立
- 平成30年 設立50周年を迎える





TOUZAI



東西工業株式会社

●本 社

〒426-0002 静岡県藤枝市横内1086-1
TEL.054-641-2329(代) FAX.054-643-9104

[URL]<http://www.touzaikogyo.co.jp>

[E-mail]touzai@touzaikogyo.co.jp